

**数理科学に関するgPBL(芝浦工業大学大宮キャンパス)**

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年03月02日 ～2025年03月10日	日本	スラバヤ工科大学	数理科学科、 システム理工学専攻  学部1年生～4年生、修士1 年生	(芝浦工業大学) 学生23名、 学生バイト6名、 教員2名、職員1名  (スラバヤ工科大学) 学生16名、 教員2名	サイ 貴生 (数理科学科)、  田森 寛好 (数理科学科)



川越文化交流ツアー

2025年3月2日～10日に本学大宮キャンパスにて global PBL (Project Based Learning) を実施した。本学(SIT)23名、スラバヤ工科大(ITS)16名の計39名の参加学生に対し、本学教員2名、TA 6名、ITS教員2名が指導・支援にあたった。

gPBLの活動として、学生は6班に分かれ、教員から提示された二つのプロジェクト(SITとITSから1つずつ)に対してグループワークを実施した。一つ目のプロジェクトでは、すべてのグループが与えられたA4サイズのダンボール紙を使って材料を無駄にせず最大容積をもつ容器箱を製作することにチャレンジした。二つ目のプロジェクトでは、ねじとリベットを用いて食器棚を組み立てる最適化問題を考え、目的関数、決定変数と制約条件の設定を経て数学的に問題を解いていくプロセスを実践した。いずれのプロジェクトも2-3日間のグループワークの後、全体発表会で成果を報告した。

本gPBLの期間中、川越文化交流ツアー、少林寺拳法部活体験、浴衣ワークショップ、大宮工業高校見学も行い、日本の文化・技術の一端に触れてもらうとともに、国際交流を促した。グループワークに加え、歓迎会、送別会でも学生同士の交流があり、友好が深まったようである。本学科書記や国際部の支援もあって各活動はスムーズに進み、本gPBLは成功裏に終了したものと考えている。



グループワーク



少林寺拳法部活見学



浴衣ワークショップ



大宮工業高校見学



最終発表会



集合写真(閉会式)